

# 横断型連携特別演習 最終成果発表会

令和2年11月7日(土) 15:20~17:45  
[2020連携プロジェクト演習・横断型連携特別演習] Teams

1. 授業概要説明 (科目責任者:柿山)
2. 成果発表 (発表時間20分、ディスカッション25分)

15:20  
~  
16:05

## 環境情報を直感的感覚につなげるデザイン方策の研究

デザイン研究科 人間情報デザイン分野 石田 勝也

本研究は、かつて人々が身体的に獲得していた環境変化に対する認知機能を「直感的感覚」と捉え、その物理的、時間的拡張を行う環境認知システムの構築を実現し、現代社会における環境変化に対する主体性の獲得を目的とする。直観的感覚の主体性の獲得に対する評価の指標を得るためには、実践において直観的感覚を獲得する過程に生じる、身体的・心理的行動変容に着目する。その第一段階の探索的研究として、これまで試行的に実践した風力・音空間での、被験者での心理行動変容の実験・分析結果について報告する。

担当教員

椎野 亜紀夫 教授  
藤木 淳 教授  
丸山 洋平 准教授

16:05  
~  
16:50

## ステークホルダーを優先した航空路デザインの提案

デザイン研究科 人間情報デザイン分野 川田 進

本研究では、航空機に関わる航法の変革で航空航法における産業革命といえる衛星航法に着目し、宇宙から航行支援を得ることで地上航法インフラをほとんど必要としない新航空路デザインを研究する。地上航行援助施設に頼らず、技術寄りではなく航空に関わるステークホルダーのために、モノゴトを形作るデザイン思考に着目して最新の衛星航法システムを利用することで新しい空域利用の運航方式の航空路デザインを提案する。

担当教員

三谷 篤史 教授  
山田 信博 准教授

16:50  
~  
17:35

## 看護学校教員のケーススタディにおける指導意欲と指導内容の実際

デザイン研究科 人間情報デザイン分野 渋谷 友紀

【目的】 教員の指導意欲と教育観の違いによるケーススタディの差異を明らかにする。  
【結果】 「研究の教育」として看護学校で取り組まれているケーススタディは、時間数・科目数、対象学年など教育施設により差異がある。  
【結論】 看護学校のケーススタディは教育施設の取り組み状況が異なる他、教員の意欲や教育観によっても内容が異なり、必要な教育内容に至っていない可能性があり、その要因として教員の意欲や教育観を明らかにする必要性を確認できた。

担当教員

齊藤 雅也 教授  
柿山 浩一郎 教授

- 3 総評 (担当教員)

